

## ボランティアコーディネーション

第8回

ボランティアは  
“派遣”されるものではないのだけれど

特定非営利活動法人 日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長

ごとうまりこ  
後藤麻理子

ボランティアセンターの特徴的な業務として、ボランティアに関する「相談窓口」を開いているという点があります。ボランティア活動をしたい、ボランティアの応援がほしい、ボランティアについて勉強したい、など、「ボランティア活動に関することなら何でもお気軽にご相談ください!」というのがその基本姿勢です。

## ■ボランティアセンターの相談業務の性格を再確認する

ボランティアセンターは相談を業務として行っている以上、そこには組織の理念やボランティアに対する考え方が反映します。そしてその考え方は相談業務の形態や範囲の設定にもつながってきます。あなたのボランティアセンターではボランティア活動(希望)者に対して、どのような「サービス」を基本としていますか?

- (1)活動についての情報提供
- (2)活動の紹介(開拓)
- (3)活動先への派遣

おそらく日本のボランティアセンターの多くが、(2)の「活動先を紹介する」というスタンスを取っていると思います。

紹介とは「知らない人同士を引き合わせる事。なかだちをすること」。派遣とは「任務を負わせて、他の地に行かせること」と辞書には書かれています。紹介の代わりに斡旋という言葉を使っているところもあるようですが、斡旋は労働争議解決の手段や、仕事を斡旋するイメージも強いので、ボランティアセンターが使う言葉としてはあまり適当ではないでしょう。派遣に至っては、自発性・主体性を旨とするボランティア活動とは到底なじみません。しかし、最近でもこの「派遣」という言葉を使用しているボランティアセンターを見かけることがあります。パンフレットに「ボランティアを派遣し…」と使われていたり、事業報告書に「ボランティア派遣数」などと人数が紹介されていたり、

ボランティアコーディネーターの方との会話の中に自然と出てきたり…と、その場面はさまざまです。

## ■「ボランティア派遣センター」という誤解をとこう

ボランティアセンターとボランティアの間には、通常、「契約」関係はありません。ボランティア登録もその組織への所属や従属を意味するものではなく、あくまで継続的な情報を提供するための手段です。

しかし一方では「ボランティアセンターは申込みばボランティア派遣してくれるところ」という誤った認識をもった関係者がいることも事実です。例えば、ボランティアの依頼内容として在宅の支援ニーズが多く持ち込まれるボランティアセンターでは、コーディネーターが相談の場面において、ボランティアがヘルパーや派遣介護者ではないことを依頼者・活動者双方に十分に説明し、理解していただくことが重要になります。「派遣」という言葉を用いなくても、調整の仕方によっては、ボランティアセンターが、紹介したボランティアに対する使用者責任を負っているような誤解を受けたり、依頼者に対しても、活動希望者に対しても、ボランティアとはセンターから派遣されて来るもの、頼まれて行くもの、という意味を助長してしまいかねません。



ボランティアコーディネーターは、ボランティアや市民にセンターの役割や機能についての説明をすることはもちろんですが、そもそもボランティアがほしいという注文に合わせて、「派遣」に向けて人を探す需給調整センターになっていないかを振り返ってみたいものです。

## ◆ ◆ ◆ 会議・イベント・助成関連情報 ◆ ◆ ◆

## 地域支援・生活支援活動推進研修会

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

近年、家庭や地域社会の支え合い機能の低下を背景に、さまざまな生活課題・福祉課題が顕在化し、公的サービスでは解決できない課題や、制度の狭間のニーズも明らかになっています。こうした状況に対応して、市民どうしの意図的・継続的な支え合いや個別支援の仕組みである、住民参加型在宅福祉サービス、食事サービス、移動サービス、ふれあいきいきサロン、小地域での見守り支援活動、宅老所などの「生活支援サービス」が重要な役割を果たしており、その実施体制の充実が期待されています。そこで、本研修会は、「生活支援サービス」の意義・内容・課題や、同サービスの担い手養成、サービス組織の立ち上げ・運営支援の手法等を研修し、もって同サービスの全国的な推進を図ることを目的に開催します。

主 催：社会福祉法人 全国社会福祉協議会

企画・運営：高齢者地域活動推進者養成支援事業企画運営委員会  
(以下、「企画運営委員会」)日程／会場：第1回(西日本)平成22年2月26日(金)～28日(日)  
／「ホテル八丁堀シャンテ」(広島市)  
第2回(東日本)平成22年3月12日(金)～14日(日)  
／「ロフォス湘南・中央福祉学院」(神奈川県葉山町)受講対象者：・都道府県・市区町村のボランティアセンターまたはNPOセンターのスタッフ  
・企画運営委員会構成団体の推薦を受けた生活支援サービス実施・支援団体のスタッフ  
上記のうち、「生活支援サービス」の担い手養成や生活支援サービスの立ち上げ・運営支援を行うもの

受講定員：計300人(各回150人)

申込方法・締め切り等詳細については、以下のサイトをご参照ください。  
<http://www3.shakyo.or.jp/cdvc/>